

バンクーバー新報

Vancouver Shinpo Japanese Weekly Newspaper

■購読料: 1年(51部) / \$75.60 半年 / \$47.25 1部 / \$1.00 GST NO. R105484992
(\$72.00+GST \$3.60) (\$45.00+GST \$2.25) (GST 込み)

The Japanese Weekly Newspaper Published Every Thursday

January 22, 2015

Address: 3735 Renfrew Street,
Vancouver, B.C., V5M 3L7
Tel: 604-431-6848 Fax: 604-431-6892
Web Site: http://www.v-shinpo.com
E-mail: joho@vshinpo.com
info@vshinpo.com
Publisher: S. Tsuda
Canadian Publications Mail
Product Agreement #40009397

無断転載を禁じます。

今週の紙面

カナダ「自由党エメリー氏を候補者とせず」…… 2
日本「民主新代表に岡田氏」…… 4
国際「中国のGDP純化7.4%増」…… 6
新報リポート「日本の伝統芸能1」…… 7
メーブル「『Floating Away』日本人監督によるカナダの映画」…… 10
V 16
17 11 7 6 4

『Floating Away』



日本人監督によるカナダの映画

製作スタッフと衛藤監督(中央)

昨年新報で紹介したバンクーバー在住の衛藤靖(えとうこう)監督のハリウッド・スタイルのカナダ映画が遂に完成した。タイトルは「フローティング・アウェイ(流れる)」(長編映画、90分)で特別公開は3月だ。衛藤監督は今年映画製作を終え、再度新報のインタビューに応じてくれた。

(取材 ジェナ・パーク)

詳細はパート2、V-14~15



インタビュー時の衛藤監督

「人命第一」の方針を確立し「徹底した情報戦を展開する必要がある」と強調した。グループがインターネット上で批判する、日本の2億ドルに及ぶ中東向けイスラム国対策費は「非軍事的人道支援」(菅氏)だと、メディアなどを通じて発信し

安倍首相 人質救出に「総力」

後藤さん、湯川さんと判断

2邦人殺害警告 身代金期限「23日午後」

安倍首相は21日夜、過激派「イスラム国」とみられるグループが人質とした。政府は、2人は仙台市出身のフリージャーナリストの後藤健二さん(47)と、千葉市の湯川遥菜さん(42)と、人への殺害警告に関し「総力を挙げて対応する」と述べ、救出に全力を挙げる考えを表明した。政府は、2人は仙台市出身のフリージャーナリストの後藤健二さん(47)と、千葉市の湯川遥菜さん(42)と、人への殺害警告に関し「総力を挙げて対応する」と述べ、救出に全力を挙げる考えを表明した。政府は、2人は仙台市出身のフリージャーナリストの後藤健二さん(47)と、千葉市の湯川遥菜さん(42)と、人への殺害警告に関し「総力を挙げて対応する」と述べ、救出に全力を挙げる考えを表明した。



ていく狙いとみられる。会議に先立ち、菅氏は記者会見で、日本の支援について「民生向上のための支援だ。犯人が主張するような、ムスリムの人々を殺すものではない」と強調。グループ側との交渉に関しては、イスラム教の宗教指導者を含む地元有力者を通じて、接触を模索しているとした。72時間の起点は、政府がネット上のビデオ声明を確認した20日の午後2時50分ごろとした。政府は在ヨルダン日本大使館を現地対策本部とし、情報収集態勢を強化。英、米、日、米、米のケリー国務長官、フランスのフィリップス外相と個別に電話会談し、協力を求めた。湯川さんは昨年8月にシリアでイスラム国に拘束されたとみられる。後藤さんは同10月にシリアへ取材に向かい、連絡が取れなくなった。(共同)

新報リポート

日本の伝統芸能 1

昨年10月8日から12月8日までの2カ月間、カナダカウンシルの助成で、日本の歌舞伎以前の芸能(800~1800年代)について日本でリサーチをした。滞在に出会った、印象に残った芸能についてご紹介させていただきます。

(取材 平野弥生)

詳細はパート1、10~11ページ



綾子舞 (写真提供 平野弥生)

「フローティング・アウェイ」のあらすじ

主人公のアンドリューはハーモニカ奏者であり作曲家。彼の幸せは自分の作った曲を妻・イザベルのピアノと共に奏でること。豊かではないが好きな曲を作り続ける夫と、純粋な彼を信じる妻。二人の間に子供が生まれ、現実を見つめる妻との間に亀裂が入る。自分の追い求める夢と現実の狭間でアンドリューは自らの人生の意味を見つける。

映画製作とカナダ人の俳優たち

自主映画の製作にあたって監督はまず自分で脚本を書いた。納得するまで何度も書き直して編集をした。そして書き上がると今度はプロデューサーを探したが、これは自分が想像していた以上の難題だった。バンクーバーで何人ものプロデューサーを訪ね歩いたが、断られたり意見のすれ違いでうまくいかなかった。そんな時、語学学校で勉強をしていた角田道明（つのだみちあき）さんに出会った。日本で映画製作に携わっていた角田さんと意気投合し、映画製作において最大の課題である資金調達に走った。バンクーバーのガーデン協会のイベントにも参加し、「映画の宣伝ができるならどこにでも行く」という感じで人の集まる場所へ出かけた。その他ラジオや新聞で呼びかけたり、監督の奨学金のスポンサーであった国際ロータリーや、クラウドファンディング（注：不特定多数の人がインターネット経由で財源の提供や協力などを行う）という新しいシステムでも製作資金を少しずつ集め、ついに映画製作までたどり着けた。



プロデューサーの角田さん（左）と衛藤監督（その右）

配役に関しては、まず俳優ユニオンに登録しているカナダ人の中から主演俳優のオーディションをした。これは日本育ちの監督がオーストラリアとカナダで映画の勉強をして、俳優に全てカナダ人を起用するという他に類のない新しい試みだった。撮影中「カナダ人の英語は自分の知っている英語と微妙

に違った」と監督は振り返る。例えば「昂（すばる）」という言葉、監督は「星」を意味していたが、カナダ人にとっては「車（日本車名のスバル）」だった。「あなたは昂みたい」のセリフの意味が伝わらず、「車か？」と聞き返すセリフをカナダ人のために挿入したりもした。自分で作曲した詞の中でも、「これは私の息子だから」がカナダ人の英語では「これは私のベビーだから」となり、監督はそれが嫌で「これは私の子供だから」に変更したそう。



スタッフと衛藤監督

去年撮影現場を訪問した時、衛藤監督は何度か子役の少年に話しかけていた。「彼は天才的で、きっと良い俳優になります」と監督は語る。映画の中の静かに食事をするシーンで、あまりにもおいしくなさそうに食べていたので監督は他の食べ物に変えようとした。ところがそれは彼の好物なのだという。母親役にスポットがあたっていても、悲しいシーンの中では自分も彼女の演技に合わせて後ろでゆっくり食べていたのだそう。また、休憩時に監督がいくつかおもちゃを与えると、「僕はこの映画の中でいくつ？」と聞いたので「5才」と答えると、「じゃ、このおもちゃにする」と撮影場所ではずっと5才の子役になりきっていた。監督はそんな子役俳優のプロ意識にも感心したそう。

「あきらめない」が共通点

監督と主人公アンドリューの共通点について聞くと、監督は少し考えて、「あきらめないところかな」と答えた。幼いころからゲームでも自分が勝つまで、納得いくまでやったと笑う。自分の好きな音楽を自分流に作り続けていきたいという主人公を通じて、監督は映画の世界で同じように葛藤していた自分を見ていたようだ。しかし監督はこの映画を通してあえてメッセージを入れないという。プロパガンダになりたくないし、自分が正しいと思っていることが



スタッフと衛藤監督

が他人にとって正しいとは限らないからだ。「だから性別、年齢、国籍など関係なく、多義的であいまいさがある。この映画で観客それぞれが違った感想を持ってほしい」と監督は語る。ストーリー、特にラストシーンは見応えがあり、3月の上映が楽しみだ。

衛藤昂監督のプロフィール

1985年大分県生まれ。オーストラリア、シドニーフィルムスクールで映画製作を学び、在学中に監督した短編映画「Permanence」がオーストラリアの映画祭で最優秀作品賞を受賞する。在学中より映像制作、テレビ、コマーシャル等の仕事を経て、2012年、ロータリークラブより国際親善奨学生としてカナダ、バンクーバーのキャピラノ大学映画撮影学科に留学する。カナダの映画やテレビで活躍中の撮影監督、Danny Nowak氏に師事し、在学中はDean's List（優秀な成績を修めた学生リスト）に名を残した。カナダで照明技師、カメラアシスタントとして活動した後、映画、ミュージックビデオ等の監督、撮影、編集に携わっている。今回の「フローティング・アウェイ」が監督のカナダ初の長編デビュー作となる。

（ホームページ：<http://neige-a-saigon5533.wix.com/koeto>）



インタビュー時の衛藤監督

衛藤監督の映画「フローティング・アウェイ」の特別上映会に読者の皆様を抽選でご招待！
新報2月中旬のお知らせをお見逃しなく。

日本人監督によるカナダの映画

『FLOATING AWAY』

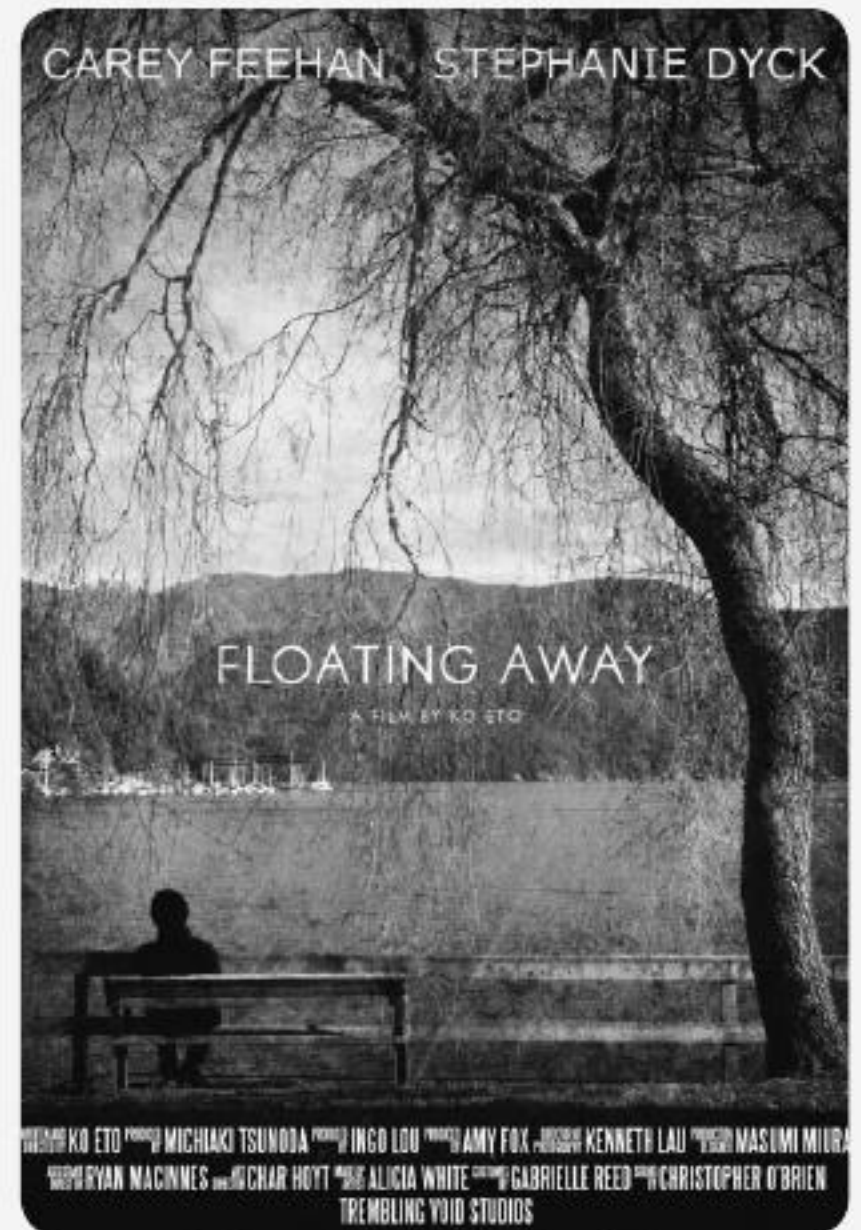
～観客の個性で楽しめるユニバーサルな作品～

昨年新報で紹介したバンクーバー在住の衛藤昂(えとうこう)監督のハリウッド・スタイルのカナダ映画が遂に完成した。タイトルは「フローティング・アウェイ(流れる)」(長編映画、90分)で特別公開は3月だ。衛藤監督は今回映画製作を終え、再度新報のインタビューに応じてくれた。

(取材 ジェナ・パーク)



監督・スタッフ・俳優



映画「フローティング・アウェイ」のポスター

KODO 鼓童

ONE EARTH TOUR MYSTERY

Kodo returns to Vancouver with this groundbreaking new production, a performance that will take you on a voyage to the extraordinary, to a mystical realm of ancient creatures, legends and powerful taiko music.

THURSDAY JANUARY 29 2015 8PM
QUEEN ELIZABETH THEATRE 650 HAMILTON STREET



NorthernTickets.com
 604.569.1144
 1.855.551.9747
 918 Granville Street
 Info: 604.683.8240
 www.kodo.or.jp

メディアスポンサー: **バンクーバー新報**
 Vancouver Shinpo Japanese Weekly Newspaper

RRSP は2月末まで、間に合います!!

カナダ滞在中の資産作りのお手伝いします。

無料個別相談開催中

毎週火・木曜 10:30AM～ 要予約



- ◆ 老後への資金準備は"RetirementPlus"で!
ボーナスが毎月加算され、「貯める」スピードを加速。
- ◆ しないと損する RESP(学資プラン)
政府助成金\$7200がもらえます
- ◆ 万一来る生命保険、病気保険
海外旅行保険、ビジター保険
- ◆ Manulife Bank 年率1.45%の普通預金
毎月の口座料なし、いつでもおろせる普通預金

投資アドバイザー
小林ヒロコ

日本、米国、カナダで30年の
金融・投資スペシャリスト
不安を感じる前に何でもお気軽にご相談下さい!



TEL: 604-727-2320 www.canadaeinvest.com
 moxeyh@shaw.ca

IDC Worldsource Insurance Network
 #2338 - 666 Burrard St, Vancouver, BC, V6C 2X8